中国四国地区
アーカイブズウィーク
第12回

防長と海
その記録と記憶

2017年6月1日[木]–10日[土]・11日[日]
※5日[月]は休館日

入場無料

中国四国地区アーカイブズウィークは、
文書記録（アーカイブズ）の重要性とその保存利用をPRするため、
中国四国地区の文書館・公文書館施設が共同して毎年実施している事業です。

〈主催〉山口県文書館 〈共催〉山口県文化財愛護協会
〈後援〉全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、山口県地方史学会

山口県文書館（もんじょかん）

いずれも当日受付、先着順/参加無料です。

アーカイブズ展示
「防長と海 ～その記録と記憶～」
6月10日[土]・11日[日]
9:00-17:00〈文書館閲覧室〉

ギャラリートーク
6月10日[土]・11日[日]
10:30/16:00〈文書館閲覧室〉
文書館専門研究員がアーカイブズ展示を解説します。
定員 各30名

歴史探究講座
「海の大名 能島村上氏と秀吉政権」
講師／岸田裕之（広島大学名誉教授）
「重要文化財 村上家文書」
講師／和田秀作（文書館専門研究員）
6月10日[土] 13:15-15:30
〈県立山口図書館レクチャールーム〉
定員 250名

アーカイブズ歴史小話
6月11日[日] 13:00-15:30
〈県立山口図書館レクチャールーム〉
専門研究員が今年度のテーマ「防長と海」に関わる「ちょっといい話」をリレー形式で紹介します。
定員 250名

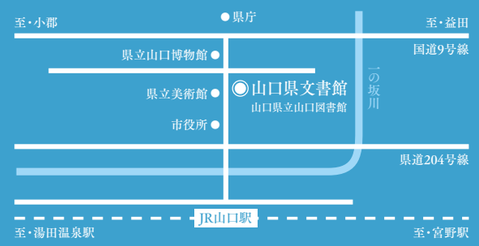
文書館書庫見学ツアー
6月1日[木] - 4日[日]・
6日[火]・ 8日[木]・ 9日[金] 10:30/14:30
7日[水]・10日[土]・11日[日] 9:30
文書館書庫を特別公開します。
年1回だけのチャンスです。
定員 各10名

文書館を使ってみよう！
6月7日[水] 13:30-15:00
〈県立山口図書館第1研修室・文書館閲覧室〉
文書館の利用方法をガイドします。
定員 30名

日程	6月1日(木)	6月2日(金)	6月3日(土)	6月4日(日)	6月5日(月)	6月6日(火)	6月7日(水)	6月8日(木)	6月9日(金)	6月10日(土)	6月11日(日)
アーカイブズ展示					休館日					● 9:00-17:00	● 9:00-17:00
ギャラリートーク										● 10:30/16:00	● 10:30/16:00
歴史探究講座										● 13:15-15:30	
アーカイブズ歴史小話											● 13:00-15:30
文書館書庫見学ツアー	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30		● 10:30/14:30	● 9:30	● 10:30/14:30	● 10:30/14:30	● 9:30	● 9:30
文書館を使ってみよう！							● 13:30-15:00				

山口県文書館 〒753-0083 山口市後河原150-1
TEL(083)924-2116 FAX(083)924-2117
WEB http://archives.pref.yamaguchi.lg.jp/

第12回中国四国地区アーカイブズウィーク
◎ウィークの期間中、閲覧業務は通常どおり行います。
〈但し、6月10日(土)、11日(日)を除く〉



第12回 中国四国地区アーカイブズウィーク

防長と海

その記録と記憶

中国四国地区アーカイブズウィークは、
文書記録（アーカイブズ）の重要性とその保存利用をPRするため、
中国四国地区の文書館・公文書館施設が共同して毎年実施している事業です。
29年度、山口県文書館では、「防長と海～その記録と記憶～」と題して開催します。
歴史の中でさまざまな舞台となってきた「海」をテーマに、
生活と産業、流通と移動、戦いと友好、港と船など多様な視点から、
文書館資料を用いて防長と海の歴史を紹介します。

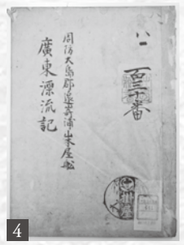
流通と移動の舞台

1 関門海峡トンネル絵はがき（図書726-58-182）
開通時のもの。

2 日明貿易船旗（国重文。高洲家文書118）
勘合貿易途絶後の民間貿易に用いられたと考えられる船旗。

3 村上家過所旗（国重文。村上家文書34）
戦国時代最大の海賊衆村上氏が通行保証証として与えたまねき旗。

4 周防大島郡遠崎浦山本屋船広東漂流記（三坂圭治文庫641）
遠崎の船が中国まで漂流し、乗組員全員が無事に帰郷した一件の記録。

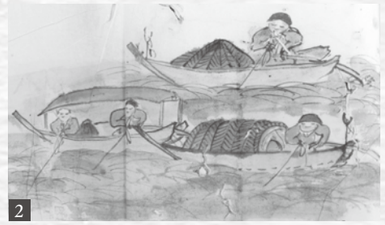


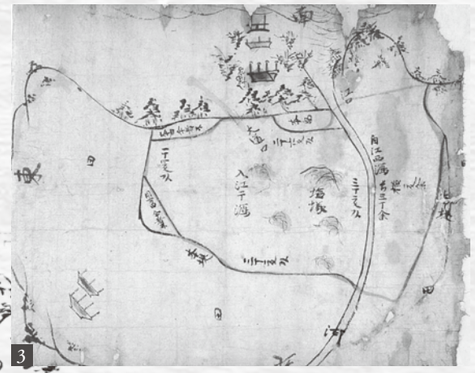
生活と産業の舞台

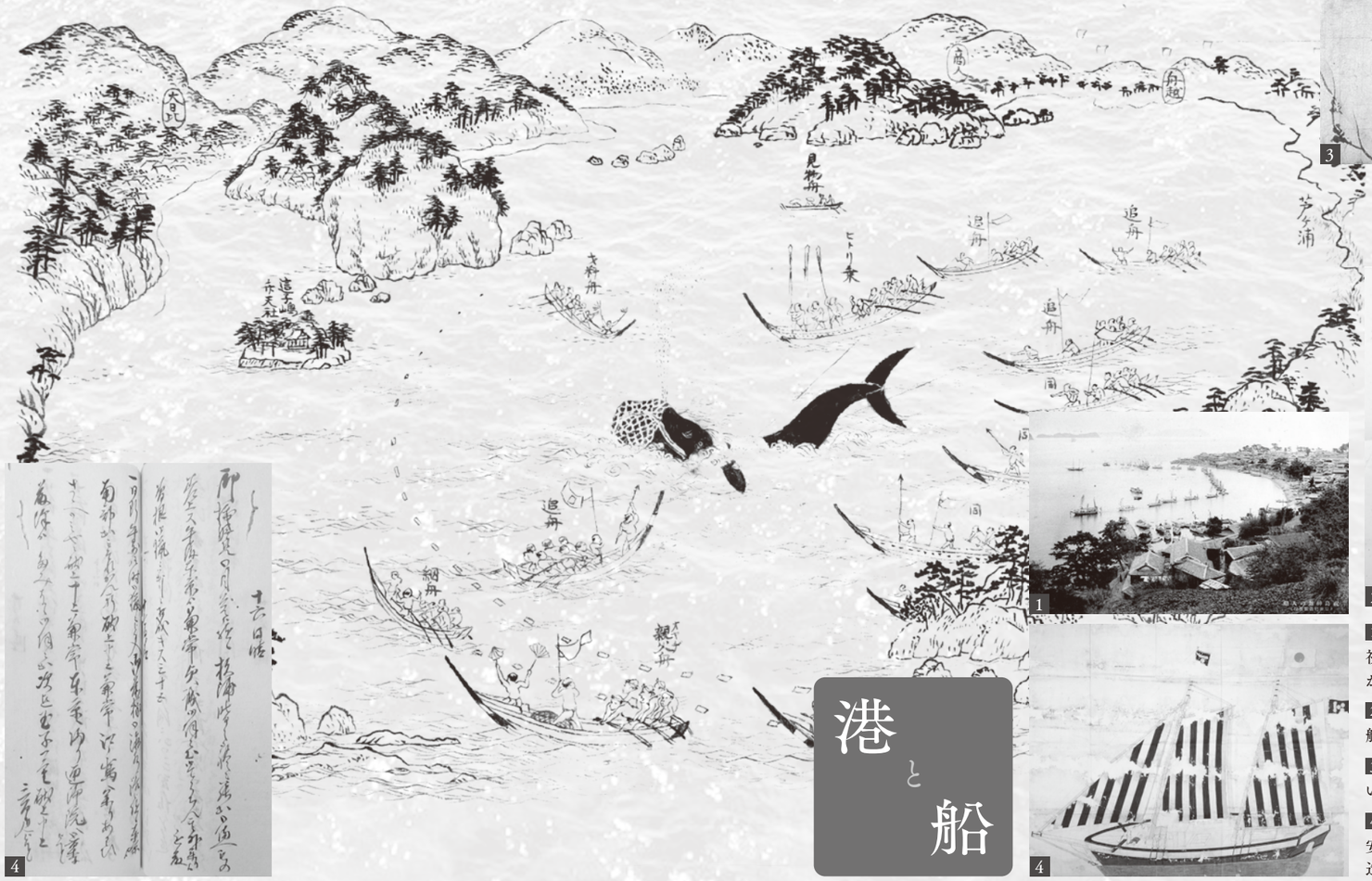
1 2 水産慣例原稿（県庁戦前A農業509）
近世から明治初期の防長の漁業の姿を伝える。明治12年（1879）に政府のおこなった調査時に、諸郡から県に報告したものの綴り。

3 長門国正吉郷入江塩浜絵図（国重文。有光家文書）
現在の下関市永田神社の大宮司であった有光家に伝わったもの。鎌倉時代の塩浜を描いている。

背景の捕鯨図 通浦（風土注進案350）
青海島の紫津浦で網取り式捕鯨が行われている様子。通浦には鯨墓や鯨の位牌も残る。







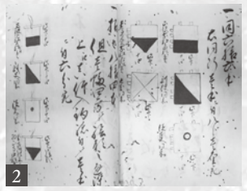
戦いと友好の舞台

1 采配（村上家文書27）
海賊衆から萩藩船手組に転じた村上家に伝わったもの。他の船を誘導・指揮するのに用いた。背景の捕鯨図の「親父舟」「才料舟」にも采配を振る人物がみえる。

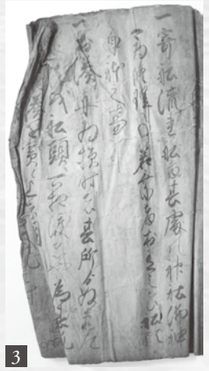
2 朝鮮通信使記録（毛利家文庫42御勤事86（2）〈50の11〉）
来朝した朝鮮信使を見分けるための船印を記したもの。

3 明治37・38年事件功労者取調一件（県庁戦前B79）
日露戦争時、向津具半島に望楼がおかれ軍艦が停泊する様子。

4 元徳公御旅行日誌（毛利家文庫5忠愛公116（3の1））
明治23年（1890）に毛利元徳夫人が鎌倉で「海水浴」をした記録。



港と船



1 上関祝島神舞の入船絵はがき（小川五郎850-2）
祝島神舞は4～5年に一度、藩・県境を越えて豊後伊美から神主・神楽師を迎えて行われる祭事。

2 船玉命海上開運刷札（原田家文書（防府市）1002）
船霊（ふなだま）を描いた海上安全の護符。

3 船法議（佐川家文書（平生町）626-3）
いわゆる廻船式目（戦国時代頃成立の海上法）の一つ。

4 丙辰丸製造沙汰控（毛利家文庫15文武99）
安政3年（1856）から翌年にかけて、長州藩がはじめて建造した洋式帆船（丙辰丸）の図。